

失いかけたからこそ、大切さを伝えたい

# ふくしま SAND 物語

## Fukushima Playful Sand Art World



ふくしまから、  
日本全国、  
世界へ発信！

砂遊びの面白さ、楽しさ、  
子どもの成長に欠かせない  
遊びの重要性を、  
ふくしまから伝えたい！

### 福島から伝えよう

2011年3月11日の  
東日本大震災とそれ  
に伴う原発事故。

福島の子どもたちは、  
一度、砂や土、泥で  
遊ぶ楽しみを失いか  
けました。

あれから4年を経た  
今、福島県内には20  
ヶ所もの屋内砂場が  
誕生。各地で様々な  
砂遊びのプログラム  
を展開しています。

子どもの大切な遊び  
と遊び環境づくりを、  
他のどこよりも真剣に  
考えてきた福島県だ  
からこそ、日本中の子  
どもたちのために発  
信します。

「こどもがまんなかフェスティバル」  
(2014/5/31-6/1 郡山市)  
二日間で延べ8500名の親子が、  
色々な砂遊びに挑戦しました。



スゴイ！  
やってみよう！



子どもから大人まで、  
心から楽しむ  
Playful Sand Art の世界



福島市さんどパーク



福学院大附属幼・コンテナ砂場



福島インドア砂場サミット 2013



Playful Sand Art には、子どもの成長、人と人とのつながり、町や地域を創る力があります！



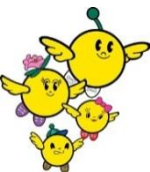
鳥取市 砂の美術館



鳥取市の砂のアート美術館。2006年より砂像の屋外テント展示。  
2010年、世界初の砂像美術館開館。通算200万人を超える来場者。  
美術館砂像プロデューサー茶園勝彦(Chaen Katsuhiko)氏は、日本  
唯一のプロ砂像作家。国内外で精力的に活動。「ニューズウィーク  
日本語版」2009年7月8日号にて、「世界が尊敬する100人の  
日本人」の一人に選ばれる。

笠間：福島だからこそ、東北の砂のメッカになってほしい！

茶園：そうですね。私でできることがあれば協力します。



水都大阪 2009



← 東アジア文化都市 2014 横浜 ヨコハマ「砂の彫刻展」